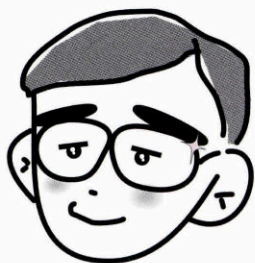


# ながと日記 ばーと42

長門市長 松林正俊



## 節目の年です

ラムin北長門や全国シニアソフトボール大会、そして金子みすゞ生誕百年祭など、いろいろと事業・行事がありました。外国の方をはじめ全国から多くの方々に訪れていただき、長門市の自然や文化に触れていただきました。

また、1市3町の合併協議も大

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さんには健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、ほっちゃテレビの開局や金子みすゞ記念館のオープン、米米フォーラムin北長門や全国シニアソフト

大きく進んできました。新市名称も「長門市」に決まりましたが、この「長門」の呼び名は「穴戸」から由来すると言われていています。大化6年(650年)、穴戸(のちの長門)の国司が朝廷(孝徳天皇)に白雉を献上し、年号が白雉と改められたことが「日本書紀」に記されています。古代中国や日本において、白雉はめでたいしるしとされてきました。

さて、昭和29年に現在の長門市が誕生して以来、今年で50周年を迎えることとなります。この50年間、私たちのまちはどの様に変わったのでしょうか。30年前の市制

20周年を記念して長門青年会議所の皆さんが、赤崎山公園にタイムカプセルを埋められました。30年後に掘り出す予定で、当時の世相を反映するものや未来の夢や希望を描いた児童・生徒の絵や作文なども詰まっていると聞きます。市制50周年記念行事の目玉の一つとして、タイムカプセルが開かれますが、過去を振り返り今を見つめる絶好の機会になりそうです。

来年3月の新しい「長門市」の誕生を私たちは今目指しています。過去にしっかり学び、進むべき道を切り拓く、長門市にとって今年はその節目の年となりそうです。

## 深川幼稚園幼年消防クラブ 防火活動に表彰

12月9日、深川幼稚園幼年消防クラブに日本防火協会会長賞が贈られました。積極的に地域の防火活動に寄与しているクラブに贈られるもので避難訓練や防火パレードなどの活動が評価されました。



## 年末の風物詩 養殖ブリの網引き

12月17日、青海島紫津ヶ浦の山口ながと漁協養殖場で恒例の正月用ブリの網引きが行われました。今年は生育が良く魚体が大きいということでマダイなどと一緒を広島や岡山の市場に出荷されます。



## 俵山温泉を歩く まちなみウォッチング

11月28日、長門市らしい街並み景観を住民と行政と一緒に考えるまちなみウォッチングが俵山地区で開催され、約80人が参加し街路灯の老朽化や案内板の設置などについて意見を申し合いました。



## 「長州赤どり」 ゆうパック出発

12月1日、「長州赤どり」ゆうパックの今シーズン第1便出発式が深川養鶏農業協同組合で行われ、テープカットの後、43箱を積んだ第1便のトラックが関係者の拍手に見送られ、出発しました。



## 高齢者体力テスト

12月3日、ながと総合体育館で高齢者を対象とした体力テストが行われ、約40人が参加しました。10m障害物歩行や上体起こしなど6つの体力テストを行い、自分の体力を確認しました。

